祝　　辞

本日，ここ海上自衛隊　第１術科学校　大講堂において，第百三十期幹部予定者課程卒業式が厳粛に挙行されるに当たり，地元，江田島市民を代表して，お祝いの御挨拶を申し上げます。

幹部予定者課程を卒業される皆様，本日は，誠におめでとうございます。そして，梶元学校長を始めとする，学校関係者の皆様におかれましては，立派に成長された自衛官が江田島の地を巣立つ姿に，感慨もひとしおのことと，お察しいたします。

今，こうして皆様の，規律正しく，凛とした姿を拝見いたしますと，ここ江田島で過ごされた日々は，厳しい中にも達成感を感じられる，充実したものであったと推察いたします。

ロシアによるウクライナ侵攻を始め，北朝鮮による相次ぐ弾道ミサイル発射実験，台湾をめぐる緊張など，我が国を取り巻く安全保障環境の厳しさが増す中，自衛隊の役割や，皆様への国民の期待は，非常に大きなものとなっております。

皆様におかれましては，是非，旧海軍兵学校の伝統を受け継ぐ，幹部候補生学校で学ばれたことを糧として，「心・技・体」を備えた指揮官として，国民の負託に応えていただきたいと，願っております。

さて，御存知のとおり，ここ江田島市は，明治二十一年に海軍兵学校が東京築地から移転し，その後，昭和三十一年に海上自衛隊をお迎えし現在に至るまで，共存共栄・一体不可分の関係，少し柔らかい表現で言えば，相思相愛の関係を築き，皆様との縁や絆を大切に育んできた地でございます。

私達，江田島市民は，崇高な使命を担われる，海上自衛隊の皆様に，心から敬意を抱いております。

本日，卒業される皆様方におかれましては，この江田島の地を忘れることなく，「心のふるさと」として，折にふれ，御家族や同期の仲間と訪れていただければ，市民一同，心から歓迎申し上げます。

そして，御来訪の際には，「心のふるさと江田島」の自然豊かな風景とともに，厳しくも充実した訓練を思い出しながら，海の幸，山の幸を存分に楽しみ，懐かしんでいただければ，大変嬉しく思います。

いつの日か再び皆様とお会いできる日を，楽しみにしております。

結びになります。日本国の繁栄，海上自衛隊の益々の御隆盛，御発展，そして本日御参会の全ての皆様の御健勝と更なる御活躍を，心よりお祈り申し上げ，お祝いの言葉とさせていただきます。

令和４年７月１日

江田島市長　明　岳　周　作